

A C E C O M B A T S p e c i a l

戦士たちは鋼の翼と共に大空へ舞い上がる——

エースたちの 飛翔

特集



シムハット機同士の戦闘は、中距離から短距離まで、空対空ミサイル (RAM = Air to Air Missile) の使用が特徴的。また、前線では敵の機群を攻撃するために、赤外線ホーミング、中距離ではレーダー波の照射による追跡、近距離では赤外線ホーミングによる追跡が行われる。なお、これらにはレーダー波の照射による攻撃手段として、レーダーをかくすステルス機も登場する。また、機体の形状のシミュレーションによる機体の挙動の再現も、ゲームの面白さを増している。

至高のビジュアルが描き出す空の世界

細部まで描かれた戦闘機、超高空や水平線、天候の生み出す空気感、低空から見える木々などなど、圧倒的なグラフィックに酔いしれる！

戦闘 — 敵機撃墜！



コクピット — 弾道は生への道しるべ



僚機離陸 — 再会を誓いあう瞬間



空中給油 — しばしの休息



着艦 — 新たなる戦いへのプロローグ



ACE COMBAT 5 THE UNSUNG WAR



運命を誓った“仲間”と共に 戦いの大空を駆け抜ける！

究極の高みへと飛行を続ける「エースコンバット」シリーズ。その最新作「エースコンバット5 ジ・アンサング・ウォー」が遂に姿をあらわした！ 今作のコンセプトは“仲間”。プレイヤーは小隊の隊長として僚機（部下の戦闘機）と編隊を組み、的確な指示を与えて作戦を成功に導いていくのだ。前作でも好評だった無線音声は総数26000を収録。戦いの緊張感は元より、信頼できる仲間たちとの絆も実感できることだろう。また、細部に至るまで作りこまれた実在戦闘機は50種以上も登場。臨場感満点のミッションは30ステージ以上が用意されている。さらに、幕間の物語はフルCGムービーで演出。戦争という大きな渦に巻き込まれていく人々の機微を描いたドラマは必見だ。君は今、公式記録には残らない戦い—“THE UNSUNG WAR”—の目撃者になる！

STORY

大海を隔てて相対する“オーシア連邦”と“ユークトバニア連邦共和国”。両国は常に互いを「仮想敵国」として軍備拡張と勢力拡大を競い合ってきた。2つの国を隔てるセレス海の孤島・サンド島。事件はサンド島の碧く輝く空で起こった。9月23日、オーシア国防空軍のパートレット大尉率いる飛行中隊が訓練中に国籍不明機に遭遇、一方的な銃撃の下に交戦状態へと陥った。結果8名の飛行士と訓練生達が不明機の砲口に散り、急速若いパイロットを加えた小隊を結成、サンド島の空域を警戒する為に配備された。翌9月24日、またしても国籍不明機が出現。スクランブルで上がっていった4機の小隊。公式記録には残らない—“THE UNSUNG WAR”が、ここに幕を開ける。

エースコンバット5 ジ・アンサング・ウォー

プレイステーション2用ソフト 2004年10月21日発売予定 6,800円(税込7,140円)

ウィングマンコマンド

ミッション中、プレイヤーは方向キーを使用して編隊を組む僚機に行動を指示することができる。つねに変化する戦況を見極め、的確な指示を出していくこう。

共に戦う仲間たち



Hans Grimm / ハンス・グリム
Jack Bartlett / ジャック・パートレット
Kei Nagase / ケイ・ナガセ
Alvin H Davenport / アルヴィン・H・ダヴェンポート



機体進化

機体は、敵機を撃破するごとに「機体経験値」がアップ。そのポイントがMAX値に達すると同系の進化機体を購入できるようになる。



ドラマムービー



戦いを生き抜く人間達を描いたドラマはフルCGムービーで表現。また、ドラマムービーはもちろん、無線音声についても全て英語と日本語の二ヶ国語音声も収録している。

緻密に描かれた 戦闘機の数々

ここでは「エースコンバット5」に登場する戦闘機のごく一部を紹介しよう。

実験的に開発された前進翼機。特徴的な前進翼（前方へと突き出す形の主翼）は低速域での操縦性に優れると言われているが、主翼付け根に力が集中するためかなりの強度が必要であることや、旋回時の安定性が低いなどの難問も多い。

ナナメに下がった水平尾翼が特徴的な多用用途戦闘機で、比較的大型の機体にジェットエンジンを2基搭載して機動性と航続距離を両立させている。量産開始から40年近くを経て設計の古さは否めないが、現在でも作戦使用し得る複座（2人乗り）機。



X-29A



F-4E



F/A-22A



MiG-21bis



YF-23A

非常に特徴的な角張った主翼/尾翼と、推力偏向ノズルを備える。マッハ2を超える最高速度や、アフターバーナーによらない音速飛行、高い機動性で過去の機体を圧倒する最新鋭のステルス（敵のレーダーに映りにくい特殊技術）戦闘機。

軽量・小型の機体に大きなエンジンを配し、優れた上昇加速性能や機動性を持つ。小型の機体のため、武器や燃料の搭載可能量が低く、攻撃力や航続距離に弱点を抱えるが、マッハ2を超える最高速度など実用十分の性能を持つ。デルタ翼が特徴。

薄い機体とナナメに突きあがった垂直尾翼が特徴的な戦闘機。F/A-22A同様のアフターバーナーによらない音速飛行などの能力を持ち、レーダー波の反射を防ぐエアインテークダクト等の隠でステルス性能ではF/A-22Aを凌ぐ。

現実世界の戦闘機 主翼の形状

①後退翼・直線翼での空気の抵抗と衝撃波を軽減するたため、直線翼と比べ、主翼が後方に下がっているもの。

②前進翼・失速しにくいという後退翼の欠点を解消するため、前方突き出した主翼。X-29など。

③デルタ翼・後退翼の横方向の剛性の弱さを解消する三角翼（デルタ翼）。

④カナード翼・デルタ翼の操縦性、機動性を高めるためにカナード（先尾翼）をつけたもの。グリペンなど。

⑤可変翼・主翼の後退角を変えられる機体で、低速から高速まで広い範囲をカバーする。F-14など。

